

令和2年度第2回中央区男女共同参画推進委員会（書面開催）における意見書まとめ

1 出席者

袖井委員、竹信委員、細谷委員、篠原禎子委員、前田委員、廣野委員、河本委員、磯田委員、福田委員、篠原良子委員、遠藤委員、柴木委員、和田委員、杉本委員、高本委員、竹谷委員、黒川委員 以上17名

2 進捗管理事業に対するご意見・ご質問

頁	No.	施策・事業等	意見・質問の内容
1	1	女性の活躍推進に関する男女共同参画講座の開催	アサーション講座はコミュニケーション不足を解消したり考えたりする視点で良い講座だと思う。理論で理解しても実際にそれを応用したグループワークを取り入れたことは工夫されたと考える。
1	1, 2	女性の活躍推進に向けた意識啓発	女性の活躍推進に関する男女共同参画講座及びセミナー参加者の男女比を教えてほしい。
3	7	働きやすい職場づくりに向けたセミナーなどの開催	子ども同伴の工夫は親が安心して受講できるのでよいと思う。
4	11	職業相談・就職ミニ面接会の実施	仕事にまつわる心理カウンセラー月1回であるが、この世情にあわせて回数を増やせたらと思う。
4	10	就労相談会の充実	託児つき就労支援は本当に必要だと思う。対象を「女性のひきこもり」などにも広げてみてはどうか。
5	12	若年者・中小企業マッチング支援事業の実施	子育てにより離職した女性にも視野を広げた点はよかった。
5	12	若年者・中小企業マッチング支援事業の実施	事業の対象者を「子育て等が一段落し再就職を目指す女性」と明記した、とあるが、女性のみを対象としているのか。今後、特にコロナ禍にあり、年代や性別を問わず支援する必要があるのではないか。
7	20	ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定	ワーク・ライフ・バランス推進認定企業のうち、令和元年度に更新をしなかった2社はどのような理由によるものか。
8	24	放課後における児童の居場所づくり（学童クラブ・プレディ）	学童クラブに入れない児童はどの程度いるのか。また、学童クラブに入れない場合はプレディに入るのか。学童クラブ及びプレディはどのように運営されているのか。また、民間が参入している学童クラブは何か所あるのか。
8	24	放課後における児童の居場所づくり（学童クラブ・プレディ）	子どもたちがどのように過ごしているのかを知りたい。学童クラブやプレディを活用して、道徳、家庭科、書道、茶道など日本古来の学習を取り入れてはどうか。
8	24	放課後における児童の居場所づくり（学童クラブ・プレディ）	プレディなどの支援者の男女比はどのようになっているのか。
8	24	放課後における児童の居場所づくり（学童クラブ・プレディ）	高学年の利用がどのような数字か分からないが、習い事が多いためか高学年の子を持つ母親の就労率が高いのではと考える。習い事もなく家に帰ってもひとりぼっちの子どもの居場所づくりが必要。例えば、図書館の傍で話を聞いてくれたり勉強のアドバイスをしてくれたりする常駐のスタッフがいる場所など。（家庭内虐待防止、学力格差解消、非行防止などの観点から）

頁	No.	施策・事業等	意見・質問の内容
9	27	講座・講演会など行事における託児サービスの拡大	さまざまな事業において、託児スペース、保育スタッフ等環境が整備されており大変評価できる。利用者視点において、どのような内容においても同様の環境が整備されているという点は今後も大切にしてほしい。
9	28	おとしより相談センターの管理運営	各地域におとしより相談センターができたことは良かった。
9	28	おとしより相談センターの管理運営	おとしより相談センターの相談件数が多いようだが、主な相談内容はどのようなものか。
9	29	ショートステイなど介護サービスの充実	介護サービスのミドルステイとショートステイの違いを教えてください。
11	34	家庭教育学習会の開催	「おやじ」というネーミングが現代の父親世代にマッチングしているのか、一考が必要に感じた。
11	34	家庭教育学習会の開催	今なら「パパの出番」が妥当ではないか。
18	56	男女共同参画講演会・講座などの拡充	講演会の演題や講演者名、映画の題名も記載してほしい。
18	56	男女共同参画講演会・講座などの拡充	男性講座をさらに増やしてほしい。シニアの方々が活躍してもらえる講座を企画してほしい。
19	59	女性センター「ブーケ21」ホームページの活用	ブーケのホームページが見にくいので興味を持てるよう改善が必要。
20	61, 62, 65	学校における男女平等教育の推進等	学校における性教育、性暴力への防止活動がさらに必要。
20	62	男女平等教育の推進	男女平等教育の中に性の自己決定権についても盛り込む必要があるのでは。
23	80, 81	子どもの相談体制の整備	望まない妊娠について、児童・生徒が相談できるシステムがあると良い。複数区共通でも。
23	81	子どもほっとライン	児童虐待情報専用電話の件数が前年度の8件から20件と大幅に増えている。中央区の人口が増加する中、虐待件数も増えているのか。都が実施するLINE相談などには中央区の子どもたちからどれくらいの相談があるのか。相談があった場合、都から区に連絡はあるのか。また、どのような連携を取っているのか。
28	97	審議会など委員への女性参画比率の向上	平成30年度、令和元年度ともに割合が変化していない（低いままである）。割合の向上に努めている、とあるが、具体策や現状、課題が見えにくい。
29	100	女性職員の管理監督職昇任への勧奨と環境整備	実績内容が改善につながるようには感じられない。管理職になっても安心して子育てできる環境整備や風通しの良い職場づくり、魅力ある管理職のモデル、業務量や負担感の軽減など、トータルで考え改善していかなければ現状のままであるように思われる。
29	102	家事・育児や介護をしながら活躍できる職場環境の整備	勤務時間の柔軟化、選択肢の増加は興味深い。足元からの改善の重要性もよいと感じる。

頁	No.	施策・事業等	意見・質問の内容
31	107	男女共同参画リーダー研修の実施	女性リーダーの育成に加えて、男女共同参画を推進する団体支援もこれから必要であり、それには学ぶ場が必要。
32	113	防災拠点運営委員会における男女共同参画の推進	防災事業で女性リーダーの配置を評価している。さらに広げてほしい。
36	127	連携事業の検討	近隣施設を利用し活動する団体や区民との連携について、連携を想定する団体のリスト化や掘り起こしは進んでいるか。また、近隣施設との連携を行う上で女性センターの役割とは何か。連携事業は非常に有効だと思うため、行動計画における基本理念の実現に向けた発案を広く求めてほしい。
—	—	セクシュアル・ハラスメントなどの防止に関する意識啓発	ハラスメント関連のセミナーへの関心が高いことが分かる。ハラスメント被害に遭う方は声を上げられない場合もあるため、引き続き事業を継続しハラスメントを無くす努力が求められていると思う。
—	—	妊娠・出産期における女性と子どもの健康支援等	妊婦や子育て中の女性、その親世代や子どもなどさまざまな人が集い、自由に出入りし、ほっとできる喫茶店のような居場所があったらと思う。そこには相談員や保健師などが常駐し、妊娠時の不安、子育ての悩み、健康面などその時々相談ができるとよい。
—	—	報告書に関するその他意見	同一のセミナー実績が複数箇所に記載されている。複数の目的や意義を持つものではあるが、もっと課題と事業の関係付けを絞って書いた方が事業の意味が分かりやすい。
—	—	報告書に関するその他意見	「女性活躍」や「働きやすい職場づくり」などは、事業者向けの取組の記載と区民向け（被雇用者向け）の取組の記載とを分けた方がいい。

### 3 報告書のホームページ公表について

賛成する	賛成しない	未回答
16名	0名	1名

### 4 その他のご意見・ご要望等

頁	No.	施策・事業等	意見・質問の内容
—	—	その他の意見等	某区の施設名称変更の経緯について、公募等は行わず内部の議論によりいくつかの候補から決定したため情報開示できる文書は存在しないとの話を聞いた。中央区においては、女性センター条例などの条例を改正する際、区長等に説明する文書などどのような文書が作成されているのかお聞きしたい。
—	—	その他の意見等	在勤者に対するケアや支援も行われると良い。子育てをしながら働きたい人が職場近くで子どもを預けられる施設がなく、退職せざるを得ないことが多々ある。
—	—	その他の意見等	コロナを境に小学校における児童間のコミュニケーション（接触）が不足しているため、手書きの手紙によるメッセージの交換など非接触でのコミュニケーション促進を図ってはどうか。
—	—	その他の意見等	定年後のセカンドライフの充実を目指す50代男性や、社会参加のきっかけを探している60歳以上の男性などを対象として、敬老館案内ツアーを開催してはどうか。

頁	No.	施策・事業等	意見・質問の内容
-	-	その他の意見等	<p>本年度は多くの部署で新型コロナウイルス感染症の拡大によるセミナー等の中止や人数制限等の影響を受けた。次年度はこうした状況を踏まえ、オンライン配信など開催方法を検討することになると思われるが、セミナーの趣旨や対象者の属性等を勘案することが求められる。オンライン開催の場合は、人数確保が容易になる一方、対面形式のメリットが失われることも考えられるため、評価の指標を見直すことも必要になるのではないか。</p>
-	-	その他の意見等	<p>コロナ禍の中、さまざまな活動が休止状態で団体が活動できず会員のモチベーションが低下していることに不安を感じている。世情が厳しく大変であるので男女共同参画を担う女性センターの充実を考える必要があると思う。一堂に会しての活動ができないので、オンライン等の取組も考え前に進めてほしい。</p>